

森の仲間



学級役員決まる



風薫る季節となりました。校門前の桜も青々とした葉を身にまとい、みなさんが入学してから、はや1か月が過ぎました。中学校での授業や生活には慣れてきましたか。4月は入学式から始まり、身体測定、生活オリエンテーション、部活動紹介などたくさんの行事がありました。また、学級での生活では係活動や給食当番、清掃活動なども始まりました。学級の仲間とともに行動する機会がたくさんありました。授業や学校生活はみんながつくるものです。一人ひとりが学級の一員としての自覚をもって取り組んでほしいと思います。

今回みなさんが選んだ1学期の学級役員が決まったので紹介します。

	委員長	副委員長
1組	三木 希望美	前田 陸
2組	川井 みのり	藤本 健希



三木 希望美

私は、人の手本となれる人になりたいです。そのためには常に感謝の気持ちをもって生活し、言葉づかいを意識していきたいです。

前田 陸

僕は、一人ひとりが相手に思いやりをもって接することのできる仲のよいクラスをつくってきたいです。そのためにも、それぞれの長所を見つけて尊重し合える関係をつくってきたいです。

川井 みのり

私は、時と場によって切りかえができる楽しいクラスにしたいです。そんなクラスにするために、できていないことがあれば呼びかけ合い、助け合えるような関係を築いていきます。

藤本健希

僕は、一人ひとりのことを思いやれるクラスにしたいです。これができると、けんかがなくやさしさあふれるクラスになると思います。僕は思いやりをもって友だちに接していきます。

時と場に合った行動

新学期が始まった頃は、まだ生活に慣れず言葉の使い分けもできずにとまどっている場面もみられましたが、最近は、明るく丁寧な言葉が聞こえるようになりました。時と場に合った行動ができることは、社会で生活をするときにとても大切なことです。少しずつ中学生らしくなっていくみなさんの姿を、私たちはうれしく思います。



自分らしさって？

その反面、服装や行動に気のゆるみを感じる生徒の姿も見られます。スカートの丈やブレザーのボタン、ベルトはどうでしょうか。

スポーツで考えてみましょう。いろいろな競技にはユニフォームがあります。そのユニフォームにも細かな指定や共通のルールがあります。しかし、それを着て競技をしている選手のプレイは、それぞれ違います。自分らしさというのは見た目ではなく、中身なのです。心を鍛え、技を磨くことで自分らしいプレイができるのです。みなさんの中学校生活は始まったばかりです。外見を飾るよりも、自分の心を鍛え、自分らしさを出してほしいと思います。

内観日記より



★掃除が終わって、自分が使った道具を片づけるついでに友だちの道具も片づけると「ありがとう」と言ってくれてびっくりした。何気ない行動にお礼を言ってくれてうれしかった。私もどんな場面でも「ありがとう」と言えるような人間になりたいと思った。

★久米君にお世話になった。図書委員会で目標を決める際、久米君が積極的に意見を言ってくれた。自分から動けて意見をすぐに考えることができているすごいと思った。私も久米君のようになれるよう、まずはしっかり考えて友だちの前だけでも意見が言えるようにがんばりたい。

★僕が尊敬したいのは瀬尾さんだ。瀬尾さんは朝登校していると、よくあいさつをしているのを見かける。さらに委員会でもみんなを代表して意見を言ってくれ、とても頼りになる。僕も瀬尾さんのような人になれるよう一日一日を大事に生活していきたい。



★今週2日しか学校がなくて友だちと会えなくて少し寂しい気がする。そんな中で私が心に残っているのは森本さんだ。森本さんはいつも明るい笑顔で話をしてくれる。そんな森本さんを見ると周りも自然と笑顔になっていたので、彼女の力はすごいなあと思った。森本さんのような人がクラスにたくさんいれば、クラスや学校全体が明るい笑顔であふれると思う。だから私も明るい笑顔を心がけたい。

